

町から町へ

Machi kara Machi E



天理市制60周年
60年活かして創ろう天理の未来

No. 1590

11 / 15 平成26年 / 2014



古代米の収穫で食育を学ぶ

朝和小学校の5年生62人が10月21日、近くの水田で育った古代米を収穫しました。

児童らは天理市ふるさと運動実行委員会の委員の指導を受け、真剣に鎌で稲を刈り取りました。

contents

目次

農あるライフスタイル	2
まちフォト	6
地域とのつながり	8
くらしの情報	17



市民農園においでよ!!
みんなと楽しく新鮮で
美味しい野菜を作ろう~♪



農あるライフスタイル

~新しい天理の農業あれこれ~

天理市は、大都市近郊にありながら、豊かな自然に恵まれた美しい農村風景の広がる街です。奈良県内でも、古くから農業が盛んな地域で、特にイチゴ・トマト・ナス・ホウレンソウなどの野菜類と柿やブドウに代表される果実が、主な農産物です。

このような伝統ある農業の一方で、最近是谁でも気軽に農業体験ができる取組も始まっています。今回は、そういった天理の新しい農業について紹介します。



コンバイン初体験。
どんどん刈るぞ!!



刀根早生柿発祥の地で、
美味しい柿の木オーナーに
なりませんか?



日本食文化の原点

稲刈り体験

「米」の字の由来は、お米ができるまでに「八十八」の手間がかかるからといわれています。昔と比べて、今は便利な機械もあるので、米作りも楽にできるようになりましたが、稲を育ててお米を収穫するまでには、たくさんの手間がかかります。

大切に手をかけて育てられたお米だから、味わって食べたいですね。その「八十八」の手間のひとつである「稲刈り」。市内では、稲刈り作業を農家の協力で、いろんな方々が参加できる機会がもうけられています。

小学校・幼稚園で稲刈り



市内の地元生産者の農地をお借りして、お米作りを体験している公立幼稚園、小学校があります。

はじめて、稲刈りを行う子供たちも多く、鎌の扱い方の説明を聞き、真剣に、稲を刈る子供たち。お互いに協力し合い、収穫した稲穂を見て、笑顔がこぼれます。

大学生も参加して

9月15日、福住町にある小西通夫さんの田んぼでは、地元の方や天理大学生3名が一緒になって、稲刈りを体験する催しがありました。

この企画は、高原地区の街づくりを一緒に考えるきっかけづくりとして行われたもので、参加した学生は、初めてのコンバイン操縦や手作業による稲刈りを行い、汗をかきながら丁寧に稲を刈り取りました。



河瀬直美監督も天理で米づくり・野菜づくり



▶市内の田んぼで、稲刈りを楽しむ河瀬監督

平物の西穂と
子供たちに任せる事
こころは稲刈り、お米づくり
食の美しさを大切に
笑みあう事。
こころは優しい笑顔が
思ひあふす。
お達の世ができて
ほんのちよとの手間
とこそ大事事か
此処にあります。
河瀬直美

▲河瀬監督の直筆メッセージをいただきました

気軽に農業体験 市民農園

耕作放棄地の解消に向けて市内2カ所で体験農園を開園していただいています。

体験農園に応募したみなさんのきっかけは様々ですが、土に触れ、作物を栽培・収穫する喜びと楽しみを味わうことは共通です。

みなさんの活動する時間は異なりますが、お互いに野菜の成長過程をみながら相談をするなど、交流の場としても役立っています。



村上体験農園 (天理市長柄町)

「新しい料理本買っちゃいました！」

長柄町にある村上農園で野菜作りをする寺田さん夫妻は、自らの体験を微笑みながら話されました。

1世帯あたり30㎡ほどの区画が提供され、それぞれが作りたい野菜・花を栽培。

農地を提供した村上さんは「皆さんに畑を利用してもらうことで、畑自身が活かされているように見える」と嬉しそうに、話しておられました。

定年退職後の余暇活動や健康づくりのためはじめました。
来年はスイカに挑戦したいね



寺田さん夫妻



美味しい野菜作りには、土作りが肝心。自分で作った取れたて野菜の味は格別!!



仲間と何か共同作業をしたくて始めました。今では、夫婦共通の楽しみです。

吉岡体験農園 (天理市柳本町)

「作った野菜の味に自画自賛です」

柳本町にある吉岡体験農園では、植西さんが、自ら栽培する野菜について喜びをこう表現されました。

市民農園は、活動する仲間とお互いの野菜の成長過程をみながら相談し、交流の場としても役立っています。



植西さん

セカンドライフの活動場所に

ひとつの畑をひとりで栽培する時代から、セカンドライフの活動場所や他利用者との交流の場として、共通の作業から得られる喜びや楽しみを分かち合う、体験農園の広がりによって新たなライフスタイルの兆しが見えてきませんか。

市では、これからも、野菜・花などを作り楽しみたい市民と、農地を活用したい農家の方の橋渡しをする「市民農園制度」を推進していきます。

柿を育てよう

柿の木オーナー園



柿の木オーナー園は、刀根早生発祥の地である菅生町で開設されました。オーナーは、専門知識を持つスタッフや柿農家の指導の下、管理する柿の剪定、摘果、収穫といった作業を行います。

収穫作業の際には、「農作業ができて良かった」「収穫の喜びを感じた」などといった声が聞かれました。

柿の木オーナーは、毎年1月頃に募集します。



地域の食材を活かす

柿の葉を利用した料理



9月27日、天理観光農園で菅生町の柿の葉を利用した料理教室などがありました。

これは、山の辺の道地域づくり協議会が主催する「山の辺の景観を食べよう!!」と題した企画の一環で、参加者は奈良の伝統料理「柿の葉寿司」の作り方を体験しました。また、柿の葉茶の試飲や柿の葉の粉を使ったピザの試食なども行われました。

市民農園制度の紹介

天理の新鮮な農産品を手に入れたい人は

天理マルシェへ!!



◇開催日程・時間
11月9日・23日、12月21日、
平成27年1月25日、2月22日、
3月22日の各日曜日 10時～

◇場所
天理駅前広場

農地を活用したい
(農家)

農業体験をしたい市民のため、農地の有効活用をしてみませんか。

野菜・花を作りたい
(入園希望者)

「野菜・花」の栽培と収穫を通して自然とふれあい新鮮な野菜作りに挑戦しませんか。

(仲介)

- ・市広報紙・ホームページ
- ・利用契約書の締結支援
- ・空き区画など各種情報提供 (市・J A)

10/15

石上神宮「ふるまつり」
華麗に時代行列

石上神宮の伝統の秋祭り「ふるまつり」が、同神宮での例祭の後、お旅所までの約4キロ間をお渡しして執り行われました。

約200人の氏子らが、甲冑武者や古代装束に身を包んだ従者になり、列をつくって時代絵巻を繰り広げました。

10/19

奈良県初上陸の
ラグビートップ
リーグが天理で開催

ジャパンラグビートップリーグ初の奈良県開催となった「クボタスピアーズ対宗像サニックスブルース」の試合が天理親里ラグビー場で開催されました。

クボタには、日本代表の立川理道選手から天理大学OBの選手が多数出場。この日の試合でも立川選手が最優秀選手に選ばれました。

試合は42対28でクボタスピアーズが勝利を収めました。



10/12

氷の神様、氷室神社で例祭

福住町の氷室神社で秋祭り（例祭）があり、氏子や地元関係者でにぎわいました。

この日は、拝殿での神事後、氷室旧跡前のお旅所まで白装束の氏子らによる神輿の渡御が行われました。太鼓の音が鳴り響く中、天狗や甲冑姿の氏子、地域のお稚児さんなども加わり、厳かな中にもにぎやかなお渡りとなりました。



10/12

てくてくてんり
内山永久寺跡を訪ねる

てくてくてんり「秋」文化歴史探訪 創建900年消えた幻の大寺院「内山永久寺」の現地ウォークが開催されました。

天理駅を出発した参加者は、市座神社や薬師堂を経て内山永久寺跡に立ち寄り石上神宮までの約8キロのコースを訪ね歩きました。

10/21

ならコープと「地域における見守り活動に関する協定」

10/25

防災訓練で 地域防災の向上を図る

市民の防災意識と防災体制の向上を図るため、櫛本小学校で櫛本校区住民を対象にした防災訓練が実施されました。

訓練は、大規模地震による災害が発生した想定で、住民の避難誘導、けが人の救護、非常食の配給などの避難所運営訓練が行われました。



地域包括ケアシステムの取り組みの一環として、天理市と市民生活協同組合ならコープは「地域における見守り活動に関する協定」を締結しました。

この協定に合わせて、岩屋、豊井、内馬場、福住、山田各地域の高齢者への夕食宅配が拡大され、高齢者が安心して暮らせる「見守り体制」が充実することになりました。

10/26

第4日曜日はマルシェの日

「RURIHAI ~^{るりはい}瑠璃杯~」が初登場



天理駅前広場で、天理マルシェの第2回目が開かれました。

大好評だった前回に引き続き今回も、市内・県内から農産品・フード・工芸品など15ブースが出店。

また、市役所職員と地元酒蔵が企画した「RURIHAI I~瑠璃杯~」も出店し、天理駅前には、新鮮な野菜やフード・工芸品を求めて多くの人で賑わっていました。

次回は11月9日に、開催されます。

RURIHAI ~瑠璃杯~
市制60周年を記念して、市役所女子職員と地元酒蔵さんが協力して「日本酒プロジェクト」を立ち上げ、天理土産となる地酒が完成しました。
今後は、天理マルシェをはじめ市内の商店などで販売します。



地域とのつながり



櫛本幼稚園

添上高等学校

「人となりがつながり、ぬくもりのある地域社会の中で、
「学び」の大切さを見直すために、地域全体で教育力を高
める仕組みづくりが進められています。今まさに求められ
ている教育ではないでしょうか。」

市内の各幼稚園、小学校、
中学校では、交流行事の機会
を設けるとともに、地域と連
携した教育の取組を実施して
います。今回は、添上高等学
校と櫛本幼稚園の取組をとり
あげます。

10月10日、添上高等学校の
2年5組の生徒たちが「発達
と保育」という授業の一環で、
近くにある櫛本幼稚園で園児
とふれあいました。これは10
年近く前から行われている行
事です。

各年齢別の部屋に分かれて
入った生徒たちと園児たちは
手遊び歌やゲームを楽しいま
した。今回の幼稚園訪問は今
年2回目というものの始め
のうちは、少しぎこちなさが
ありましたが、時間が経つに
つれてどんどん打ち解けてい
きました。

「ふれあうことで、昔のこ
ろの自分を思い出して、とこ
かく楽しいです」と言う女子
生徒や、「始めは照れもある



し、どう接すればいいのかわ
からなかったですが、なつい
てくれると嬉しいですよ」と言
う男子生徒。高校生の顔も、
園児たちの顔も、とびつきり
の笑顔でした。

お弁当の時間には、大きな
お兄さんやお姉さんの隣で
「わーっ大きなお弁当」と
いう声もあがったり、どの部
屋もわいわい楽しく盛り上が
っていました。

幼稚園の先生に話を伺って
みると、「何年も続いている

高校生とのふれあいは、毎回
楽しみにしており、他にも、
預かり保育や幼稚園まつりに
ボランティアとして貢献して
くれています。これからも回
を重ねるごとにお互いに親近
感が生まれ、憧れや思いやり
の心が益々育まれていくこ
とでしょう」とのことでした。

天理市では、地域全体でつ
ながることで、みんなで見守
っていく、そんな取組がひろ
がっています。

平成25年度 国民健康保険

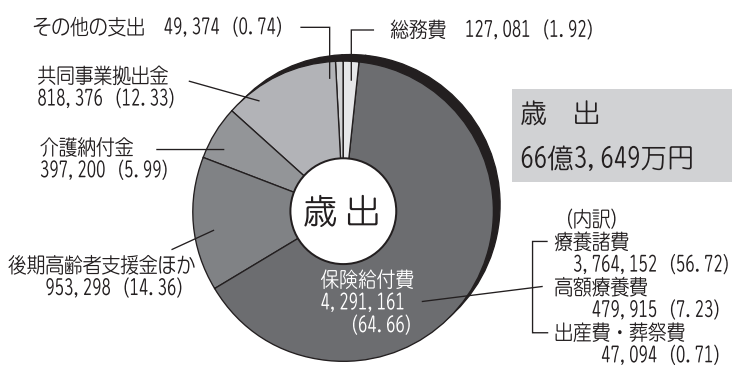
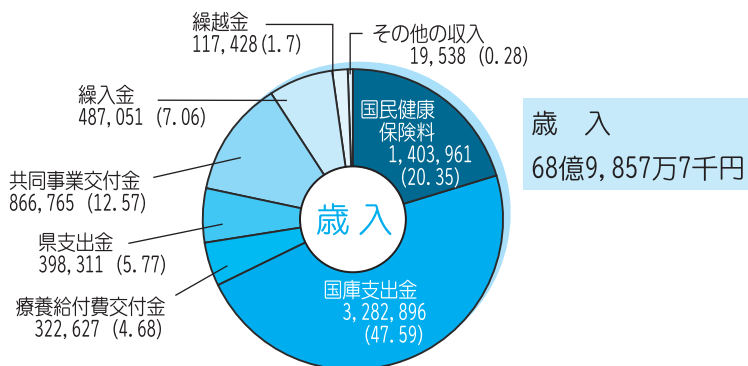
決算と給付状況

国民健康保険（国保）は、万一病気やケガをしたとき、安心して治療に専念できるように、日頃から保険料を出し合い、必要な医療費にあてるといった助け合いの制度です。国保財政は、皆さんの保険料と国からの補助金などで支えられています。

そこで、平成25年度の国保の決算をお知らせします。

● 特別会計

単位：千円、（ ）は構成比%



歳入歳出差引残額 2億6,208万7千円

平成25年度決算

平成25年度の決算額は、歳入が68億9,857万7千円、歳出が66億3,649万円で、歳入歳出差引残額は2億6,208万7千円となりました。歳出では、医療費の支払い（保険給付費、後期高齢者支援金ほか）が全体の79.0%を占める高い水準のなかで前年度比4.5%増、金額にして2億2,476万円の増となっています。

医療費抑制のために

平成25年度の1人当たりの医療費は27万9,466円です。医療費が増加すれば、皆さんの保険料に負担がかかってきます。日頃から自分の体のことをよく知り「健康に敏感」になることが大切です。また、平成20年度からメタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導を行い、治療から予防医療へと力を入れています。

いつまでも健康という宝を大切に、国保へのご理解とご協力をお願いします。

● 国民健康保険給付状況

療養諸費（平成25年3月～平成26年2月）

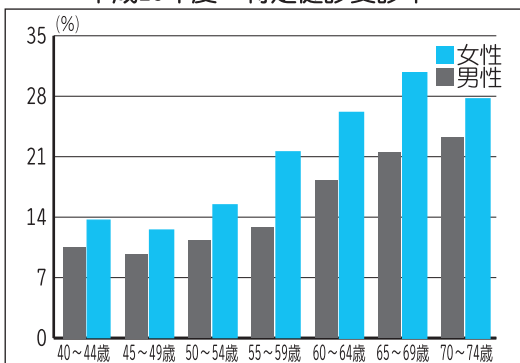
件数	費用額 (千円)	保険者(市)負担額 (千円)	一部負担金 (千円)	1人当たり費用額 (円)
229,955	5,141,054	3,739,132	1,261,963	279,466

※平均被保険者数 18,396人
（うち退職被保険者など1,017人）

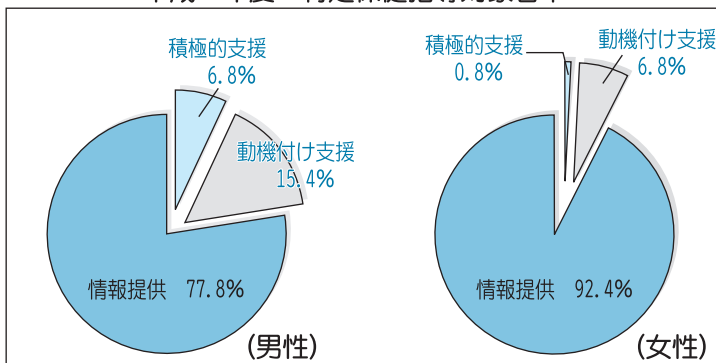
※一部負担金について、不足分は国・県などで補われています。

● 特定健診・特定保健指導の状況

平成25年度 特定健診受診率



平成25年度 特定保健指導対象者率



◆問い合わせ 保険医療課 (☎内線717) へ



奈良マラソン2014

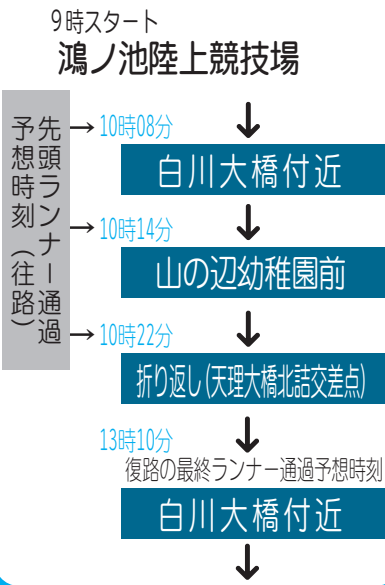
12月14日(日) 9時スタート



いよいよ、来る12月14日に1万2千人のランナーが天理市内を駆け抜け42.195キロを疾走します。全国から訪れたランナーを励ましの気持ちと温かいおもてなしの心で歓迎する大切な機会として、天理市内では約850人の市民ボランティア等の協力のもと「奈良マラソン2014」が開催されます。

市民あげての大声援で、ランナーの皆さんに「励ましの気持ち」や「天理っ子の明るい声援」を思い出として、持ち帰っていただきます。市民の皆さんの沿道での熱い声援をお待ちしています。

沿道通過予想時刻



▲山の辺小学校の児童による応援看板



▲市民による和太鼓演奏(白川地区区内中央通路)



▲ぜんざいのふるまい(ランナー対象)(天理教真南通り)



▲山の辺幼稚園児による応援(山の辺幼稚園前)



▲市内(天理・南・西・北)中学校による吹奏楽部の応援演奏(天理教真南通り)

市内の沿道イベント

◆問い合わせ 奈良マラソン実行委員会事務局 (☎0742-81-8752/土・日曜日・祝日を除く)へ

天理安全

二二コース



[天理警察署]

▽11月25日、12月1日は「犯罪被害者週間」です

「犯罪被害者週間」です

犯罪被害者週間に合わせて、地域社会で被害者を支えるとともに、一丸となって犯罪と対決する気運を高め、「安全・安心の街づくり」を実現することを目的として「犯罪被害者支援県民のつどい」が開催されます。

◇日時 11月27日(木) 13時30分から

◇場所 ならまちセンター市民ホール(奈良市東寺林町38)

◇主催 奈良県・奈良県警察なら犯罪被害者支援センター

◇内容
・講演「闇サイト殺人事件の被害者遺族となつて」磯谷富美子氏
・県警察音楽コンサート
・ソプラノ歌手による独唱

◇入場料 無料

◇問い合わせ 県警本部県民サービス課犯罪被害者支援室(☎0742-2310110)へ

▽民事介入暴力出張相談所の開設

本年度最終の民事介入暴力出張相談所が開催されます。相談内容については、暴力団が関係する問題だけでなく、一般的な相談でも受理しますので、ぜひご利用ください!

◇日時 11月28日(金) 13時から16時まで

◇場所 桜井市立中央公民館(桜井市粟殿202番地)

◇主催 (財)暴力団追放センター

◇弁護士 民事介入暴力担当 藤井弁護士など

▽防どうし振り込め詐欺被害

「電話口 お金の話 それは詐欺」

「送るな!渡すな!振り込むな!お金は元に戻らない!」

世の中に甘い話はありません。少しでも不安・不審を感じたら、家族や警察に相談してください。

110へ

110へ

110へ

110へ